

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名：グループホーム 福治の里

作成日：令和 2年 1月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について、普段していないからこそ、何が拘束になるのか気付かず、結果的には拘束となっているかも知れない。	何気ない声かけも含め、身体拘束とならないような介護、声かけができるように支援していく。	注意し合えるような職員の関係作りをする。また、身体拘束研修時には、事例を挙げて話し合い、意識付けを図る。	12ヶ月
2	49	外出の機会がすくない。	個々の機能や希望を正確に把握したうえで、可能な形での家族の協力も求めながら、外出の機会を増やす。	職員は、入居者のニーズや機能について、情報を共有した上で、外出やドライブ等ができるよう予め計画をする。家族に外出などの協力を求め、外出の機会を設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。